

高松学習館運営協議会（令和4年6月）会議録概要

開催日時 令和4年6月22日（水曜日）午前9時30分～午前11時30分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（前明星大学教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

服部裕美（高松児童館）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 庄司康洋（生涯学習推進センター長）

榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 生涯学習推進センター長あいさつ 皆さん、おはようございます。期が新しくなりましたので改めてよろしくお願ひしたい。地域の方々の活動を見させていただいてコロナが少し落ち着いて活動が少しずつ活発になってきたと感じている。地域の方々にお支えいただひて学習館の運営ができていることを感謝申し上げたい。2件ご報告させていただきたい。学習館のWi-Fiの利用開始が6/24に決定したのでぜひ学習活動に活かしていただきたい。本日記架予定のきらり・たちかわ夏号の裏表紙の学習館探訪コーナーで第1回は高松学習館の記事が掲載されている。
2. 辞令交付 生涯学習推進センター長より辞令伝達があった。
3. 委員自己紹介 各委員より自己紹介がなされた。事務局より立川市地域学習館運営協議会設置要綱と資料について説明があった。
要綱にある委員謝礼について質問があり、生涯学習推進センター長の方で市財政課に伝える旨の回答があった。
4. 会長・副会長の選出 互選により、会長は梅田委員、副会長は難波委員が全会一致で再選出された。会長、副会長よりあいさつがあり、これ以降、議事の進行を梅田会長に依頼した。
5. 報告事項
 - ・事務局より下記について報告があった。
 - ・文化祭作品展参加サークルと来場者アンケート集計結果は概ね好評だった。参加サークル数が少なかったため、展示スペースに余裕がありすっきりして見やすかった、3日間の期間は短い、パッチワークの実費頒布が楽しみなので復活してほしい等の意見があった。昨年度は作品展中止で代わりとして、一週間で入れ替わるミニ展示(廊下とガラスケース)を実施した経緯がある。今年度は作品展が開催されたので、明日のふりかえりの会で、参加サークルの意見を集約して来年度に活かしていきたい。文化祭という名称は若い世代

には古く感じるのでは、例えば、フェスティバルというような名称の方が馴染みやすいのではないかという意見もあり、参加サークルに諮ることになった。地運協ワークショップは例年のようなお茶はふるまえなかったが、千代紙人形のしおりづくりで和気あいあいとして良かった。階段に展示された児童館の子ども作品も楽しくてとても良かった。

- ・Wi-Fiの導入について：6/24(金)より全学習館で利用可能となる。利用者は規約を承諾して学習館窓口でパスワードを受け取る。視聴覚室と第一教室は全面で利用可。学習スペースもほぼ利用可だが、他の教室は不安定な状態。オンライン講座については運用規則の検討に少し時間をいただいている。

6. 協議事項

(1) 前回議事録(案)について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・平和宣言30年事業について 前回の協議会で柴崎学習館運営協議会の檜崎委員の説明を受けて、事務局より高松学習館の地域のパネル展示物の提案があった。展示内容について協議され、空襲犠牲者名簿は個人情報保護には該当しないが、遺族や関係者への配慮の点から慎重にした方がいいという意見があった。8/28講座の際に体験を語っていただく地域の方について栗原委員より紹介があった。当日スタッフの人数は足りるが、ぜひこのような貴重な講座の機会に参加いただきたい。
- ・令和4年度地域活性化事業について
 - ・開催日程が決定した事業について事務局より説明があった。
 - ・東京学芸大学との共催事業「夏の思い出かまつり」について
本日、東京学芸大学の倉持先生と大学生より具体的な企画内容の提案について配布資料に沿って説明があり、協議された。
 - ・当日スタッフの配置、会場レイアウト、タイムスケジュールは大学生の方で作成してもらおう。当日必要な備品、工作材料などについては講師の市民リーダーさんに確認することになった。駐車場で大学生が運営するプログラムの紹介があった。
 - ・暑さ対策として、社会福祉協議会より飲み物とお菓子の提供、自治連よりミストファン、ウォーターサーバー等の備品貸出の申し出があった。PRちらしに掲載する協力団体として、高松児童館(集客と子ども作品展示)、高松図書館(端紙リサイクルBOX出展)、立川市自治会連合会高松町支部・栄町支部を追加する予定。市内小学校で配布される社会福祉協議会の情報誌「手と手」にも記事を掲載してもらおう。
 - ・ちらしについて、PRすると同時に興味を持たせるように作成することが大切。当日スタッフの配置とローテーション、リーダー(緊急時の連絡、指示系統)、天候(荒天の場合は中止)について、想定以上の人数の来場時の対策や対応、事前のシミュレーション実施、学習館保険と学生ボランティア保険の適用のこと等について、スタッフ間で共通認識しておくことが大切というアドバイスがあった。
 - ・お祭り感を出すのにお囃子を流すと雰囲気が出るのではないかという意見があった。

- ・スタッフの名札を用意する。(学生・学習館)
- ・特に駐車場での参加者の安全確保の面について意見があった。テント付近で子どもが出入りするのに危険がないように対策強化することになった。駐車場の片側半分を駐車不可にしてほしいという意見があり、会議後に再度、駐車場スペースで位置確認をすることになった。交通安全を外部団体に依頼するか検討したが、駐車場の半分を使用不可にすることでカバーする。事務局より図書館と当日学習館利用者に事前に周知する。
- ・工作とポッチャの実施時間帯については来場者の人数と流れにより調整することになるので事前に区切ることは難しい。
- ・本日会議で挙げた課題について学芸大と学習館でつめていく。
- ・当日スタッフとして、学生チーム7人+応援学生、地運協委員4人(梅田会長、難波会長、神山委員、栗原委員)、学習館職員2人を予定。
*学習館にあるオリパラの暑さ対策グッズも使用する。

(3) その他

- ・代表者連絡会：令和4年7月29日(金)午後6時30分 梅田会長が出席
- ・次回会議日程について確認した。
令和4年7月27日(水)午前9時30分～11時 高松学習館

7. 地域課題共有 時間の関係で省略

・

以上